

	優位性	向上を図る事項
学校の魅力 (入口対策)	<p>[学生支援制度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生支援制度により資格取得等の費用負担を軽減している <p>[授業料等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の授業料が他の園芸学校に比べ安い(118,800円/年) 	<p>[認知度向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の普通科高校に対しアカデミーの認知度を高める必要がある 県内の農林系高等学校との交流を活性化し受験者数を確保する必要がある <p>[施設等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新技術を学ぶための温室等の機能向上が必要である <p>[地域連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内市町村と連携し、花や緑を活用したまちづくりの支援するなど、地域に根差した学校づくりを進める必要がある
教育内容 (カリキュラム等)	<p>[専攻コース概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産、装飾、造園と基礎を横断的に学んでから専門コースに進むため、各分野の知識を生かしたスキルが身に付けられる <p>[授業構成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業構成が座学1:実習4と現場で使える技術が習得できる <p>[教員数等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 少人数の定員に対し、充実した教員を配置し少数濃密指導が行える <p>[インターン制度]</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業経験を有した教員と授業ごとに非常勤講師を招く他、インターンを修業2年間で3回(330時間)受講できる等、実践的な教育を行っている <p>[技術研鑽]</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能五輪の10年連続出場等、ハイレベルなコンクールに出場でき優秀な成績獲得できる教育環境がある(R1:銀賞、敢闘賞受賞) 	<p>[現場教育]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の生産現場を視察する等、花き産地を知るための授業が必要である <p>[情報処理教育]</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業へのICT、AIの活用など技術革新が躍進する中、パソコンの活用能力を高める必要がある <p>[教員の研究課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員が業界の抱える課題に即した研究・調査等に取り組む必要がある <p>[カリキュラム]</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会性を身につけるビジネスマナーやコミュニケーション能力などの資質向上カリキュラムが必要である
就職支援 (出口対策)	<p>[資格取得支援]</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得のための授業があり、フラワー装飾技能士(2級・3級100%)、造園技能士(3級100%)等資格取得率が高い 	<p>[教員研修]</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の企業研修等、最新技術の指導力向上及び業界との人的ネットワークの構築が必要である